

令和8年度シラバス（芸術）

学番 28 新潟県立村上高等学校

教科(科目)	芸術（美術Ⅰ）	単位数	2単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	光村図書『美術1』				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①未知のものに勇気をもって向き合い、謙虚に、かつ、意欲的に学ぶ生徒の育成を行います。 ②他者への配慮と心のこもった挨拶や振る舞い方を身に付け、思いやりをもって他者に接することにより、真に信頼される生徒を育成します。 ③学校生活の様々な機会を通じて心と体を鍛え、自分の将来の目標に向け、覚悟をもって努力する生徒を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①生徒一人ひとりの学力を高めるために、基礎的な学習の繰り返しにより知識の定着を図る指導を行います。 ②確かな学力に基づく問題解決力と判断力を身に付けさせるために、教科横断的な探究学習を行います。 ③専門分野に対する深い理解をもった職員が、質の高い授業を行い、学ぶことの面白さと喜びを伝えながら、生徒の教養を高めます。

2 学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 指導の重点

・美術の基礎的な表現方法を学ぶ。 ・個々の表現したい意図をデザインに起こして広く他者に伝える方法を学ぶ。 ・美術作品の鑑賞を通して作品へ共感する心を養い、心の豊かさへとつなげる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・実技課題の内容 ・学習プリントの提出状況 - およびその内容 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・実技課題の内容 ・学習プリントの内容 ・グループワークおよびプレゼンテーションの内容 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業時の観察 ・グループワークやプレゼンテーションへの参加意欲や姿勢 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

	単元名	授業 時数	教材	学習活動	評価 の 観点	評価方法
4 5	鑑賞 絵画・彫刻 表現 絵画・彫刻 鑑賞 絵画・彫刻	11	教科書	・美術は自由だ／作家の手法 浅井裕介 ・身近なものを描く 色鉛筆筆のタッチの違い／水彩の技法 身近なものを描く（水彩絵の具） 身近なものを描く（色鉛筆） 身近なものを描く（パステル） ・仏像の美「四天王立像」	a b c	観察 実技課題 学習プリント グループワーク
6 7	表現 絵画・彫刻	14	教科書	・生命感をあらわす 彫刻家・舟越 桂 ドキュメンタリー 彫刻家・三沢厚彦 制作過程	a b c	観察 実技課題 学習プリント グループワーク
8 9 10 11	表現 デザイン	19	教科書	・文字をデザインする レタリングの基本 ・メッセージを広く伝える 全国の生徒作品、 TSDO（佐藤卓デザイン事務所） ・マークやサインで伝える	a b c	観察 実技課題 グループワーク 学習プリント
12 1 2 3	鑑賞 絵画・彫刻 表現 絵画・彫刻／ 映像メディア 表現 学習のまとめ	20	教科書	・比べて鑑賞する、組み合わせる 「夏」、「みかけはこはみがとんだいゝ人だ」 ・自己をあらわす 全国の生徒作品 ・作家の生涯と作品 パブロ・ピカソ 美術史ワード：「キュビズム」 ・美術Ⅰの授業で学んだ内容が自身の美術との関わりによどのように影響しているか発表する。	a b c	観察 実技課題 グループワーク 学習プリント プレゼンテーション

計 64 時間（55 分授業）

7 課題・提出物等

- ・実技課題を撮影した動画
- ・鑑賞に関するレポート課題
- ・学習プリント

8 担当者からの一言

美術の表現技術はもちろん大事であるが、生徒一人一人が「美術を楽しむ」ことができるように授業を進めていきたい。